

一月よみとりおけいこ⑤（低）

名まえ

今日は「はつ天じん」のはなしです。

天じんさんのえん日に行つたことがありますか？行つたことがなくとも毎月二十五日に、天じんさんのやたいがたちならんでいるのを見たことがある人もいるのでは？

そもそも、天じんさんにまつられている人はすがわらのみちざねという本とうに生きていた人です。ではなぜ、人が神さまとしてまつられたのか、といふとたたりをおそれてです。

みちざねはとてもかしこい右大臣でしたが、その時の左大臣にねたまれて、九州にながされます。でも、そのあとみやこはパニックになるのです。天のうの家にかみなりがおちてやけたり、左大臣がいきなりしんだりしたからです。

「うるさい」といふとばはもと「うるさし」といつたのですが、これはこの時のみやこのようすがあまりにもうるさかつたからできたことばだということです。「うるさし」はかん字でかくと「右流左死」、すなわち、右大臣は流されて左大臣は死んだ、といふになります。

みちざねの生まれた日（八四五年六月二十五日）も一十五日だし、なくなつた日（九〇三年二月二十五日）の二十五日などえん日になつたのです。そして、とくに年のはじめの二十五日は「はつ」（はじめて）の天じんさんのえん日ということで「はつ天じん」といつてゐるわけです。行つたら、見どころがいくつもあるのでかいておきますね。こま犬は京都府でいちばん大きいものです。国宝の本でんやロシアからせんそうのときとつた大ほうのたまや、北門のめずらしい男の子とわかるこま犬など……。

音どくサイン→

①なんのはなしでしよう？

②だれが天じんさんとしてまつられているのでですか？

③なぜ人なのに神さまとしてまつられたのですか？

④みちざねがしんでからの大さわぎでできたことばはなんですか？

⑤ながされるとはどうされることですか？

（ ）みやこからおわれてとおいところにおくられる（ ）川にながされる（ ）しけいになる

⑥左大臣はそのあとどうなつたのですか？

⑦なぜ天じんさんのえん日は二十五日なのですか？

⑧大ほうのたまはどこのものだつたのですか？

（ ）アメリカ（ ）ロシア（ ）ちゅうごく

⑨あつているものに○をつけましょ。

（ ）天じんさんのたたりで天のうがなくなつた。

（ ）みちざねは六十才以上なが生きした。

（ ）北門のこま犬は男の子だ。

⑩おもつたことを五行でまとめましょう。

できばえは？

